

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	質感認知の脳神経メカニズムと高度質感情報処理技術の融合的研究
領域代表者	小松 英彦（自然科学研究機構・生理学研究所・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、質感認知に関わる高次元情報を系統的に明らかにすることによって、その脳内処理過程を解明し、質感表現という工学的研究の発展につなげていこうとする意欲的な提案である。学術的にはこれまで、質感認知について、脳科学、心理物理学、工学という 3 つの異なる分野で別々に展開されてきたものであるが、本研究領域によってそれぞれの研究成果が統合され、より有機的に発展するものと期待できる。さらに、こうした学術的価値ばかりでなく、ディスプレイ開発などテクノロジーへの展開・産業的応用も期待でき、この分野のテクノロジーの国際競争力強化への発展が期待できる。領域代表者のリーダーシップのもと、若手研究者の登用なども考慮されており、新学術領域を創成しようとする強い意欲が感じられる。</p>